

コンサートシリーズ・タイトル・・・

「ヒロシマ・音の記憶 ー出会い」

◇主旨

優れた音楽作品には、そのテーマに関わらず、時代や地域を超えて広く人々に訴えかける普遍性がある。本コンサート・シリーズでは、「反核」や「ヒロシマ・ナガサキ」をテーマとしながらもそうした普遍性をもつ優れた音楽作品を見出し、時代と地域を超えて伝え残していくことを第一の目的としている。けれども単に「記録する」ことにとどまらず、現代を生きる世代に、「今」と「未来」への活力を与えられるようなコンサート（メッセージ）を提供することにより、広島が抱える過去の負の遺産を生への原動力へと変換させることも目指したい。

2010年は、サブ・タイトルを「出会い」としてプログラミングした。その「出会い」とは、被爆した（戦争を体験した）世代と20世紀末に生まれた世代との出会いであり、学徒出陣で海に散った魂（「南海譜」より）と、同じ年頃となる生きた魂（高校生）との出会いである。そして、戦争という極限状況における死者と生者の出会いは、「生ましめんかな」で象徴的に表される。コンサート当日、音楽を通じていくつもの大きな「出会い」が生まれることが期待される。

◇日時・・・2010年7月17日（土）18時半開演（20時半終演予定）

◇場所・・・東区民文化センター 大ホール（544名収容）

◇料金・・・999円（予定）

司会；井尾義信（予定）

◇プログラム

【前半】

○ギター独奏（ギター；上垣内寿光）（計約10分）

武満徹 作曲

・ 《翼》（ca. 3'30"）

・ 《ヒロシマという名の少年》（ca. 3'15"）

ほか1曲

○ギターと朗読（メゾ・ソプラノ独唱）（ギター；上垣内寿光、メゾ・ソプラノ；藤田真弓）

福島雄次郎 作曲 《生ましめんかな》（詩；栗原貞子）（約5分）

→「ノーモアヒロシマ・コンサート」第1回コンサートから故葦原邦子さんが頻りに歌い続けた作品

○ソプラノ独唱（独唱；藤田真弓、伴奏； ）（計約15分）

山田耕筰 作曲

- ・ 《しろばらの》永井隆作詞
 - ・ 《ヒロシマ平和都市の歌》大木惇夫作詞
- ほか、大木惇夫作詞、山田耕筰作曲の作品を含め2, 3曲

休憩 (15分)

【後半】

- 「被爆体験と音楽」 (約 15 分)
 - お話・・・川崎優 (作曲家)
 - 平和記念式典の献花の際に演奏される音楽「祈りの曲」の作曲者で被爆者。
 - フルートとピアノのデュオ (フルート ; 土居晃、ピアノ ; 濱本恵康) (計約 15 分)
 - 川崎優 作曲
 - ・ フルートとピアノのための《祈りの曲第5番「暁の祈り」》(ca. 7'00")
 - ・ フルートとピアノのための《祈りの曲第6番「夕べの祈り」》(世界初演になる可能性) (ca. 7'00")
 - 合唱 (安田女子高等学校合唱部) (計約 18 分)
 - 新実徳英 作曲
 - ・ 女声合唱とピアノのための《南海譜》より (詩 ; 谷川雁) (ca. 8'30")
 - 「海」、「鳥舟」、「南海譜」
 - ・ 《空に、樹に・・・》より「生きる」(詩 ; 谷川俊太郎) (ca. 4'25")
- ほか、1曲